



青森県教組養護教員部 24.10.17.

折々のことば 鷺田 清一 2137

作家・鈴木涼美に「なぜ男に絶望せずにいられるのか？」と問われた社会学者は、人を信じられるのは「信じるに足ると思えるひとたち」と出会ってきたからだと思える。人を損得で値踏みしていると、視線はブーメランのように舞い戻ってきて、自分をも値踏みの中でしか認められなくなる。共著『往復書簡 限界から始まる』から。

上野千鶴子

自分のなかのよきものを育てたいと思えば、ソントクのある関係からは離れていたほうがよいのです。

教育のつどい

▶ 24年11月9日(土)

▶ 県教育会館にて。

9:30 受付

10:00 ~ 12:00 分科会(保健室)

休憩・昼食

13:00 ~ 15:00 開会行事・講演

「失敗とムダのある授業で

子どもも先生も育つ」

板垣 賢二(日本福祉大学)

15:20 ~ 17:30 委員会

(夏学についての話し合い)

※参加者にはお弁当がでます

アンケートを読んで 先輩からの感想

くみよさんのアンケートを読んで感じたこと

- ① 子どもたちの心身の健康を守る養護教諭を守りたい
- ② 学校に一人の養護教諭。誰かと繋がっている。わかってくれる人がいる。話せる人がいることで、養護教諭としての仕事ができるのだが、繋がりたくても周りが忙しすぎて子どもの話をする余裕心を配る余裕もない中で、孤立化していく様子がみえる

く今 思っていること

子どもを中心に話をしていた学習会の積み上げが自分を育ててくれたし、多くの先輩の子どもを語る眼差しに憧れ、そんな養護教諭になりたいと思っていた。今はそんなロールモデルがないのかもと感じている

— 上北 I さん —

その他の先輩方もアンケートの感想をくださればありがたいです。現職の先生方がカブけられると思います。

お元気ですか。ようやく秋めいてきましたね。日暮れも早くなりました。気持ちたちが急かされますが夜の時間はたっぷりあります。心を落ち着けて家路についてください。

アンケート ありがとうございます

※34名の方から回答がありました

小学校 20名

中学校 10名

高校 1名

特別支援校 1名

不明(未記入) 1名

※回答の中から県教委に要望をあげていきます。次号で要求書を同封します

組合員の皆さん、まだ加入していない皆さんどうぞおいでください。分科会で日頃の悩みや疑問や喜びを語りましょう。顔を合わせると元気になります。

申し込み 県教組まで TEL 017-734-7279

先日 スマイルサポートに寄ってくれた友人がいい話を教えてくれました。

人生、笑って泣いて100になる

人は「シクシク」泣きますよね。4×9=36

「はははは」と笑いますよね。8×8=64

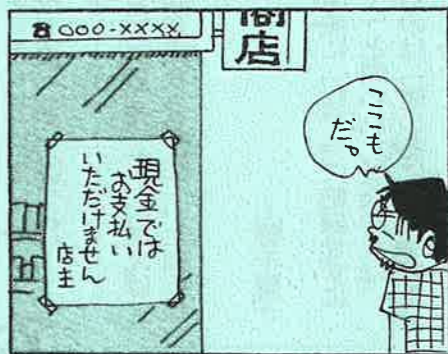
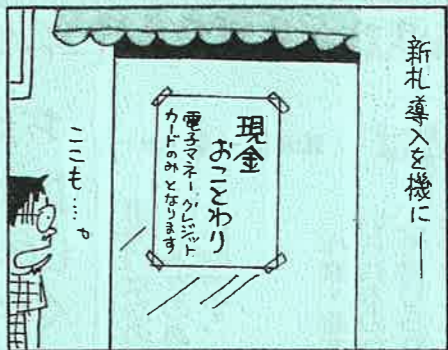
答えをたすと100になります。人生を100とすると…悲しいことは「36」 嬉しいことは「64」で倍近くあります。

文責 阿部陽子 どんなに号泣しても…5×9=45.半以下です。スマイルサポート



今回「どの子ども」はどんなことも「はお休みです

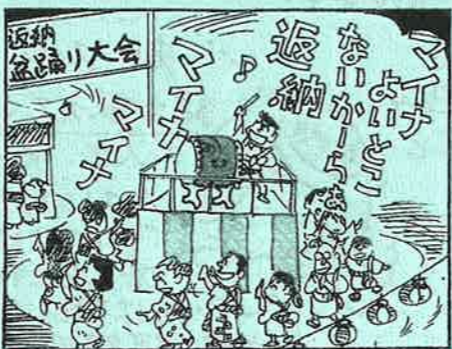
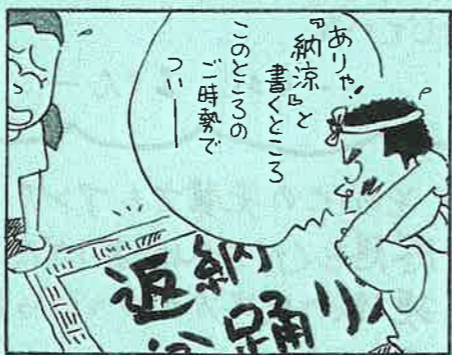
ちくみろの 小言・大言 その745



ちくみろの 小言・大言 その714



ちくみろの 小言・大言 その713



ちくみろの 小言・大言 その707



【解答】
問一 三派分裂
「マスクしない派」「続ける派」「まわりを見る」「三派対立」
問二 四面高歌
スポーツ観戦の客席に戻った 高歌放吟応援への恐れ...
問三 五類霧中
5類引き下げてホント 大丈夫なのか?